『スタンダード 電磁気学』正誤表

（高重正明 著，裳華房 刊）

（2012/2/28 現在）

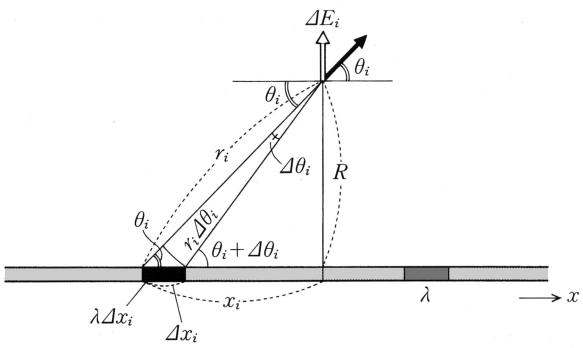
第 5 版（2001 年 2 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
137	3	［1 番目の等号の右辺の分母］　$t_2 - t_2$	$t_2 - t_1$
185	下から 5	$I\{(r^2 - a^2)/(b^2 - a^2)\}$ である	$I\{(r^2 - b^2)/(a^2 - b^2)\}$ である
	下から 4	［右辺の分子］　$\mu_0 I\{(r^2 - a^2)/(b^2 - a^2)\}$	$\mu_0 I\{(r^2 - b^2)/(a^2 - b^2)\}$

第 3 版（2000 年 1 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
75	図 3･9	［左上方］　Q'	$-Q'$
77	下から 10	［文末に追加］ （誘電体の有無にかかわらず，D は変わらないことを利用する）	
85	7	別の単位	別の定義
		［文末に追加］　（107 ページ参照）	
88	下から 6	G の単位を	G の単位はジーメンス（Siemens）であり［S］と表す．またこれを
		と読む．	と読むこともある．
89	1	［1/Ωm］	［S/m］
	例題 2 の 1 行目	0［℃］付近で	0［℃］で
92	図 4･5	「−273」の位置を左にずらして，縦軸の下にくるように移動する．	
185	下から 4	Ir^2/a^2 である	$I\{(r^2 - b^2)/(a^2 - b^2)\}$ である
		$B = \mu_0 Ir/2\pi a^2$ である．	［改行して］ $B = \dfrac{\mu_0 I\{(r^2 - b^2)/(a^2 - b^2)\}}{2\pi r}$

図の修正	38 頁　図 2･7

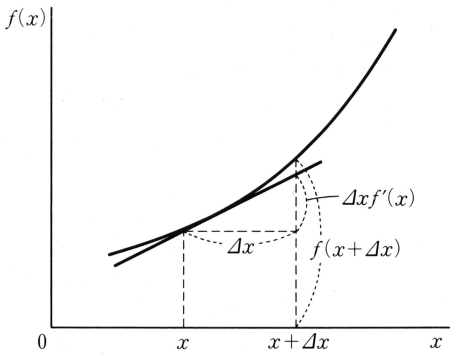


第 2 版（1999 年 4 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
11	下から 6	$\pi/4$ ［rad］	$\pi/2$ ［rad］
		$\pi/2$ ［rad］	π ［rad］
70	3	$\varepsilon_0 a^2\theta/d$	$\varepsilon_0 a^2\theta/2d$
	6	［右辺 式中］　$(2n-2)$	$(n-1)$
78	本文 3	右から左	左から右
	本文 5	左から右	右から左
140	図 6･5（a）	斜めの棒の右下に　－（マイナス）の記号を入れる.	
171	下から 1	は合同である	において PQ′ は共通である

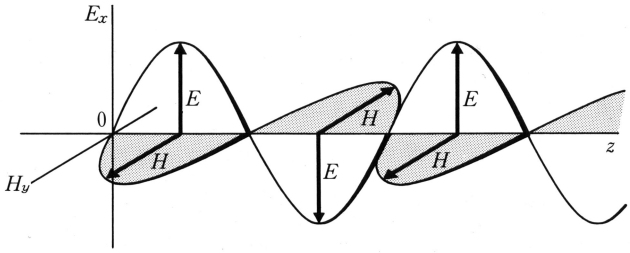
図の修正

17 頁　図 0･13



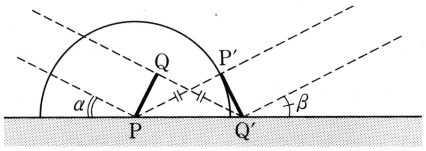
主な修正点：$\Delta x f'(x)$ の示す範囲の修正.

169 頁　図 7･4



主な修正点：E と H の文字の入れ替えなど.

172 頁　図 7･5（b）



主な修正点：Q' の位置.